

伊藤元雄さん探究講演

グロ探通信

03号

★編集★
グロ探
通信班

やりがいとはチームで何かを成し遂げることに

4月27日水曜日、山田高校探究ルーム1において、高知コア研究所の伊藤元雄さんをお招きして探究講演を行った。1年3Hの日浦くんから「今日の講演をこれからの探究に役立てるつもりで聞きます。」と挨拶があったあと、伊藤さんの来歴の紹介から講演は始まった。伊藤さんは大学院卒業後、31歳のと



これまでの半生と研究の喜びを語る伊藤さん

きにアリゾナ州の大学に研究員として赴任。サボテンがたくさんある所だったそうだ。2002年に起きた9.11の同時多発テロの際は日本と全く連絡が取れず、英語もまだ堪能でなかったため、心細い思いもしたと語られた。2006年にはNASAの研究員となり、ロボの研究員たちと仕事をわりに親睦を深め合い



熱心に聞くグローバル探究科生徒

ながら、衛生検査機が持ち帰った彗星の塵の分析に打ち込む毎日だったそうだ。講演の後半は質疑応答。「研究をしていてやりがいがあるのはどんな時ですか？」という質問には、「チームで何かを成し遂げるときに、研究をしていてよかったと思う。」と答えていた伊藤さん。研究は9割以上が失敗であるが、仲間同士で成功に向けて進んでいくことが楽しいことなのだ。

最後は2年3Hの奥田くんが今日のお話の中で驚いたことなどを伝え、お礼の挨拶をして講演会は終了した。

ぺんたんのイチ推し探究②

2期生 水流班

2期生水流班を紹介するよ!
メンバーは徳弘羽純、大勝朱夏、谷めぐみ、谷内乗の4人。全員が物部川の水質にとっても興味をもっていたから、探究テーマは「物部川支流の萩野川と岩改口のどちらがより川を濁らせる原因となっているのか」に決定!
高知県衛生環境研究所や物部川を守る会など、多くの外部機関の方にお話を聞き、実際に支流から水を採取して濁度計で濁度を計測するなど、意欲的に探究したよ。
結論は「萩野川よりも岩改口のほうが物部川を濁らせる原因になっている」となったんだ。その理由も載ってるから、山高のHPから「2021年度G探論文集」をチェックしてね! -



生徒の声

1年3H
大住恵世さん
「太陽系は46億歳」というのが驚きました! これから探究が始まりますが、チームで協力して楽しく頑張りたいです。

2年3H
奥田剛士くん
もともと理系の分野を探究したかったので、伊藤さんの講演を通してさらに探究内容が固まってきました!

2年3H
横内柱映くん
伊藤さんがNASAにいた際のお話が心に残っています。ほかにも、木星や土星など、惑星についての話が個人的に面白かったです。

今年の探究はかなり悩んでいるのですが、今はコロナウイルスやウクライナ侵攻などの問題やLGBTなど、世界的に進む状況について、私たちはどうして行くべきかという点に興味があるので、進めてみたいと思います。